

2025 年度

大阪樟蔭女子大学大学院
人間科学研究科修士課程

専門科目

臨床心理学
心理学

専攻	臨床心理学 専攻
受験番号	
氏名	

注意：受験番号、氏名を記入すること。

【 I 期：2024 年 9 月 14 日 実施 】

問題 1

I. 下記の用語について簡潔に説明しなさい。

(1) 摂食障害

(2) 元型

(3) チャムシップ

II. プレイセラピー（遊戯療法）では制限を設けることがありますが、プレイセラピーにおける制限はどのような意味をもつと考えられますか。

また具体的に制限が破られた場面を想定し、クライアントの内的な動きとしてはどのようなことが考えられ、またセラピストとしてどのように対応するかを書いてください。

問題 2

I. 以下の表は、幾つかの心理検査の名称、関連する人名、語句を記したものである。() に入る適切な語句や人名を、表の下の語群の中から選び、解答欄にその語句を記しなさい。

心理検査	人名	関連する語句
ロールシャッハ・テスト	エクスナー	(①)
(②)	コッホ	早期型
WISC	(③)	偏差知能
エゴグラム	バーン	(④)

【語群】

カウフマン SCT 安定積極型 PF スタディ 決定因(子) マッコーパー
 MMPI 従順な子ども マレー SDS 作業曲線 土居健郎 CMI
 ウェクスラー 反応転移分析 バウムテスト

II. 心理アセスメントを行う際に気を付けるべきことについて記した以下の文章について、その内容が適切な場合は○、適切でない場合は×を、解答欄の各問題番号下の二重線枠内に記しなさい。また適切でない場合には、その文章のどのような点が適切でないかを指摘し、より適切と思われる内容を解答欄に記しなさい。

- (1) 心理アセスメントで得られたデータは、その全ての結果を所見やアセスメント対象者へのフィードバック内容に盛り込む必要はなく、ある検査の結果が部分的に所見やフィードバックに反映されないことがあっても構わない。
- (2) 心理アセスメントの所見の内容や表現を相手によって変えてしまうと、人によって結果の理解が変わってしまい、その食い違いからトラブルが起こる恐れがあるため、同じ臨床心理の専門家であっても、他領域の専門家であっても、アセスメント対象者やその家族であっても、基本的には相手によらず同一の内容・表現にするように努めるべきである。
- (3) 医療機関などの場合、心理アセスメントの結果をどのように判断して、対象者の今後に活かすかは主治医である医師の判断に拠るので、対象者の問題等にどのように対応していくかについては言及せず、所見ではあくまでアセスメントの結果のみを記すように心掛けるのがよい。

【 解答欄 】

I. ① () ② ()

③ () ④ ()

II.

(1) (文が適切でない場合、より適切な内容を以下に記すこと)

(2) (文が適切でない場合、より適切な内容を以下に記すこと)

(3) (文が適切でない場合、より適切な内容を以下に記すこと)

問題 3

I. 以下の心理学用語から 3 つを選び、簡単に説明せよ。

アモーダル補完、マガーク効果、全習法と分習法、動機づけの自己決定理論、帰無仮説

(1) ()

(2) ()

(3) ()

II. 近い将来、AI（人工知能）が今よりもさらに発達・普及したときに、心理学が新たに取り組むべき研究課題としてどのようなテーマが考えられるか。あなたが考えた研究テーマについて、研究の背景、研究が明らかにすべきこと、その研究の意義などの観点から説明してください。